

令和7年度学術奨励金贈呈事業の募集要項

公益財団法人吉田学術教育振興会

公益財団法人吉田学術教育振興会は、福岡県下で先進的な科学技術の研究に取り組む研究者に対し研究費の助成を行っている財団です。

この目的を達成するため、令和7年度の対象研究を下記により募集します。

記

1 助成対象の研究

- ① 近未来の社会生活に実用化され、または応用できるとされる理工系の学術の研究であることとします。若手研究者の斬新なアイデアに基づくもの等も歓迎しています。
- ② 研究期間の制約はありません。数年かかるもの、現在進行中のもの、1年以内に終了見込みのものでも可能です。

2 応募資格

- ① 福岡県内の大学、工業高等専門学校、公立の研究機関等に在籍する人の研究とします。
- ② 研究者は、個人またはグループを問いません。
なお、応募に当たっては、所属機関の長の承諾を得てからお願いします。
・所属機関の長とは、大学にあつては「学部長」クラス、その他の高専・研究機関等にあつては「学長、所長」クラスとします。
- ③ 原則として45歳以下の若手研究者で独立して研究を行っている方を助成対象とします。

3 助成金額および件数

1件当たり200万円 4件以内

4 応募期間

令和7年7月2日(水)から令和7年7月23日(水)まで

5 選考時期

令和7年9月頃を予定しています。

6 選考基準

学術奨励金の選考基準は次のとおりとし、各視点から評価します。

- a. 研究の新規性・創造性
- b. 優位性・市場性
- c. 社会的効果・有益度
- d. 技術進歩への影響度
- e. 研究計画の妥当性・計画性
- f. 研究費の有効利用度

7 選考結果の通知

選考後、速やかに応募者(個別)にメール等で通知します。

8 応募要領

- ① 応募される方は、次の項目についてA4版(40字×40行)6枚以内で記載して下さい(参照:別紙申込見本)。

- a. 学校(研究機関)名、学校等所在地
- b. 申込者所属、官職名、氏名、ふりがな、年齢、電話番号、メールアドレス
- c. 所属機関の長の官職名、氏名
- d. 研究の主題(テーマ)
- e. 研究の背景、目的
- f. 研究の社会的意義
- g. 研究の計画、方法、内容
- h. 研究の期間
- i. 研究費総額、使途、内訳金額(できるだけ具体的に)
- j. 200万円の使途(使途内訳金額(概算))
- k. 研究分野の区分

(研究する分野について記載。複数にまたがるときは、複数記載)

l. その他

- ・研究歴、共同研究の経歴、研究助成等の経歴、関連する研究の状況等)
- ・研究助成等:競争的資金、他財団からの研究助成取得状況等、他の研究費の取得状況等(研究題目、研究費の名称、期間、金額)

m. 参考(SDGsの目標:採用後の報道関係資料として使用場合があります。

選考には影響しません。研究内容はSDGsどの目標に該当するかを記載をお願い致します。)

補足-

- 研究の背景について、当該分野の世界あるいは日本における研究、技術開発の動向を簡潔かつ明確に示し、その中での本研究の位置づけ、特色、波及効果等について、わかりやすく記載してください。
- 研究計画において、研究の準備状況と見通し、計画が予定どおりいかない場合の対処法等、があれば記載してください。
- 研究背景、計画等で図表や引用文献があれば、適宜記載してください。
- 金額の使途については、物品、試薬の購入費のほか、学会に出席する旅費、書籍購入費などの使途も可能です。
- ただし、旅費については、比率が高い場合、選考委員会の審査時にマイナス評価となることがあります。
- 競争的資金、他財団からの研究助成等、他の研究資金での研究がある場合、本申請の研究内容との関係を明確に記載してください。
- 原則として、他の研究費で実施できない独立した研究を助成しますが、他の研究資金の金額が小さい場合、本助成と合算して研究を実施することも可とします。
- 自身が主宰する新しい研究室を立ち上げる等、緊急に助成が必要である場合は、そのように記載してください。

② 申込書は、次のメールアドレスに送付ください。

fujii@dyden.co.jp

※申込書を送付した後、2日経過しても受領メールがない場合は、

財団事務局(藤井)にお電話ください。

③ 当財団の学術奨励金は、継続応募も可能です。継続応募とは、昨年又は過去数年以内に、当財団から研究助成を受けた研究の関連研究です。

応募書類には、①の項目のほか、その後の研究成果、今後の見通し等について、追記ください。

9 学術奨励金贈呈式

① 受贈者には、11月頃に開催の学術奨励金贈呈式に出席していただき、簡単な研究概要のご説明をお願いします。開催場所は、大電㈱本社の会議室の予定です。

- ② なお、11月頃では受贈者の日程が折り合わない場合は、別の形で、説明、報告等の場を設けたいと考えています。

10 助成金の交付時期

助成金は、贈呈式後に速やかに交付する予定です。

11 研究結果の報告

- ① 受贈者には、受贈から1年後を目途に、研究の成果(または進捗状況)、今後の研究計画・スケジュール、課題等について1～2枚程度で報告をお願いしています。
- ② 研究結果等の報告に当たっては、経理的報告や経理的書類(使用実績の報告、証拠書類・領収証等)は必要ありません。
- ③ なお、研究が終了し、実用化され、(数年～数十年後)一定の成果が挙げたものについては、その時点を目途にレポートの送付をお願いします。

12 問い合わせ先

〒830-8511 福岡県久留米市南二丁目15番1号 大電㈱内

公益財団法人吉田学術教育振興会 事務局:藤井、紫原

TEL:0942-51-0100

FAX:0942-51-0020

E-mail: fujii@dyden.co.jp

(ご参考)

財団のホームページ(<https://yoshida-zaidan.p-kit.com/>)の「学術奨励金受贈者募集の細部について」の中で、よくある質問への回答を掲示しています。

応募書類を作成される前に「学術奨励金募集要項の細部について」をご一読頂きますようお願い致します。

以 上